

令和6年度病害虫発生予報第2号（5月）

令和6年5月1日
愛知 県

普通作物

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
イネ	いもち病 (苗いもち)	平年並	県全域	前年の穂いもち発生量は平年並	±
	イネミズゾウムシ	やや多い	県全域	前年6月下旬の本田発生量はやや多い 前年の予察灯における誘殺数は概ね平年並	+ ±
ムギ	うどんこ病	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並	±
	赤かび病	やや多い	県全域	4月下旬の発生量は平年並 前年5月下旬の発生量はやや多い 開花期以降に連続した降雨があった	± + +
	さび病類	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並	±

・防除対策

[イネ・イネミズゾウムシ]

アレス箱粒剤、リディア箱粒剤などを用いて箱施薬を行いましょう。

[ムギ類・赤かび病]

4月下旬の巡回調査において複数地点で初発を確認しています。

4月25日発表の「令和6年度病害虫発生予察注意報第1号」を参考にしてください。

・留意事項

スクミリンゴガイの発生が確認されているほ場では、薬剤散布を行う等、防除を行いましょう。詳細は、4月3日発表の「スクミリンゴガイ情報第1号（水稻）」を参考にしてください。

ツマジロクサヨトウについては、これまでに本県への飛来に適した気象条件が2回（4月21日、30日）出現しています。飼料用トウモロコシ等においては、生育初期に食害されると被害が大きくなるため、発生状況に注意しましょう。

果樹

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
ウンシュウミカン	そうか病	やや多い	県全域	3月の越年発病葉率はやや高い	+
	ミカンハダニ	平年並	県全域	3月上旬の発生量はやや少ない 5月の気温は高い	- +
ナシ	黒星病	やや多い	県全域	4月上旬の花そう基部の発病率は平年並 4月下旬の発病葉率はやや高い 5月の降水量は平年並	± + ±
	アブラムシ類	やや多い	県全域	4月下旬の発生量は平年並 5月の気温は高い 5月の降水量は平年並	± + ±
モモ	黒星病	平年並	県全域	4月下旬の発病枝率は平年並 5月の降水量は平年並	± ±
	せん孔細菌病	やや少ない	県全域	前年の発生量はやや少ない 4月下旬の発病枝率はやや少ない 5月の降水量は平年並	- - ±
	ナシヒメシンクイ	平年並	県全域	フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	±
	モモハモグリガ	平年並	県全域	4月下旬現在、被害を確認していない（平年並） フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	± ±
ブドウ	黒とう病	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並 5月の降水量は平年並	± ±
	べと病	やや多い	県全域	前年の発生量は多い 5月の降水量は平年並	+ ±
カキ	炭疽病	平年並	県全域	前年秋の発生量は平年並 5月の降水量は平年並	± ±
	うどんこ病	やや少ない	県全域	前年秋の発生量はやや少ない	-

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
果樹共通	カメムシ類	やや多い (やや早い)	県全域	チャバネアオカメムシの越冬世代成虫密度は平年並	±
				チャバネアオカメムシのフェロモン	+
				トラップの誘殺数はやや多い	+
				チャバネアオカメムシのフェロモン	+
				トラップの誘殺はやや早い	+
				5月の気温は高い	+

・防除対策

[ウンシュウミカン・そうか病]

3月15日発表の「カンキツそうか病情報第1号（ウンシュウミカン）」を参考にしてください。

[ナシ・黒星病]

本日発表の「ナシ黒星病情報第1号」を参照してください。

[ナシ・アブラムシ類]

ウララDF、バリアード顆粒水和剤などで防除しましょう。

[ブドウ・べと病]

アリエッティC水和剤やジマンダイセン水和剤などで防除しましょう。

[果樹共通・カメムシ類]

本日発表の「果樹カメムシ類情報第2号」を参照してください。

・留意事項

有効積算温度を利用して各種害虫の防除適期を予測しました。

チャノキイロアザミウマは表のとおりです。防除対策については4月24日発表の「チャノキイロアザミウマ情報第1号」を参照してください。

表 チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日（5月1日計算時点）

	愛西	南知多	名古屋	大府	豊田	岡崎	蒲郡	豊橋	新城	伊良湖	稲武
第1世代	5/13	5/14	5/8	5/10	5/12	5/12	5/9	5/10	5/12	5/11	6/6
(前年)	5/14	5/12	5/7	5/8	5/12	5/13	5/9	5/10	5/15	5/10	6/7
前年差	1日早	2日遅	1日遅	2日遅	±0	1日早	±0	±0	3日早	1日遅	1日早
第2世代	6/11	6/14	6/6	6/6	6/11	6/11	6/8	6/9	6/12	6/10	7/6

カイガラムシ類の防除適期は、ナシマルカイガラムシは5月21日から5月28日（前年よりやや遅い）、フジコナカイガラムシは5月24日から6月2日（おおむね前年並）と予測しています。今後の気温経過で発生ピーク日が前後するため、5月中旬頃にこれらの害虫について、最新の気象データを用いた防除適期に関する情報を提供する予定です。

野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キャベツ	コナガ	やや多い	県全域	4月下旬の発生量は平年並	±
				5月の気温は高い	+
				5月の降水量はほぼ平年並	±
タマネギ	べと病	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並	±
				5月の降水量はほぼ平年並	±

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
トマト (施設)	黄化葉巻病	やや多い	県全域	4月下旬の発生量はやや多い 4月下旬のコナジラミ類の発生量が多い	＋ ＋
ナス (施設)	うどんこ病	やや多い	県全域	4月下旬の発生量はやや多い	＋
	灰色かび病	やや少ない	県全域	4月下旬の発生量はやや少ない 5月の日照時間はほぼ平年並	－ ±
	ハダニ類	やや少ない	県全域	4月下旬の発生量はやや少ない	－
	アザミウマ類	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並	±
キュウリ (施設)	べと病	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並 5月の日照時間はほぼ平年並	± ±
	灰色かび病	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並 5月の日照時間はほぼ平年並	± ±
	アザミウマ類	多い	県全域	4月下旬の発生量が多い	＋

・防除対策

[キャベツ・コナガ]

リーフガード顆粒水和剤やスピノエース顆粒水和剤などで防除しましょう。収穫後は残さを速やかにすき込み発生源を除去しましょう。

[トマト・黄化葉巻病（コナジラミ類）]

コルト顆粒水和剤、マツチ乳剤、フーモンなどで病原ウイルスを媒介するタバココナジラミを防除しましょう。

[ナス・うどんこ病]

トリフミン乳剤やパレード20フロアブルなどで防除しましょう。

[キュウリ（施設）・ミナミキイロアザミウマ]

アドマイヤー顆粒水和剤、ヨーバルフロアブルなどで防除しましょう。天敵を使用しているほ場では、それらへの影響日数に注意し、農薬を選定してください。

・留意事項

キャベツでは、春先に気温が高くなるとコナガの成育が早くなり、発生量が増加します。発生を確認したら速やかに防除しましょう。収穫終了後は、残さを速やかにすき込みましょう。

タマネギのべと病の発生株は伝染源となるため、見つけ次第抜き取り適切に処分しましょう。発生を確認したほ場では、速やかに薬剤で防除しましょう。

施設野菜の冬春作は終盤となり、ミナミキイロアザミウマやコナジラミ類、それらが媒介するウイルス病の発生が多いほ場が見られます。ミナミキイロアザミウマが媒介するキュウリ黄化えそ病（病原：MYSV）、タバココナジラミが媒介するトマト黄化葉巻病（病原：TYLCV）及びキュウリ退緑黄化病（病原：CCYV）、タバココナジラミ及びオンシツコナジラミが媒介するトマト黄化病（病原：TOCV）が発生しているほ場では、次作への伝染を防ぐために、栽培終了後、植物残さをほ場外に持ち出す前に施設を密閉して、媒介虫を死滅させましょう。

花き

・留意事項

キク（露地）では、白さび病の発生があるほ場では、発病葉を早めに除去するとともに、系統の異なる農薬でローテーション散布をしましょう。フェロモントラップでのオタバコガの誘殺が多くみられ、発生が早い傾向にあります。ほ場で発生を認めたら防除しましょう。また、今後はアザミウマ類やハダニ類が増加する時期になります。本ぼと親株床を含めた防除に努めましょう。

発生量に関する用語については、ホームページ「あいち病害虫情報」（アドレス：<https://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/yougo.html>）、フェロモントラップなどの各種調査データは、ホームページ「あいち病害虫情報」（アドレス：<https://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/investigation.html>）を参照してください。

【参考】東海地方 1か月予報（名古屋地方气象台4月25日発表）

〈特に注意を要する事項〉

期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

〈予想される向こう1か月の天候〉

天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い見込みです。降水量及び日照時間は、ほぼ平年並の見込みです。

週別の気温は、1週目は、高い確率80%です。2週目は高い確率60%です。3～4週目は、高い確率50%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い：10% 平年並：20% 高い：70%

〔降水量〕 少ない：30% 平年並：40% 多い：30%

〔日照時間〕 少ない：40% 平年並：30% 多い：30%